

おやこ大学だより

2019年度11号(2020.2.1) Vol.105



ごあいさつ

みなさん、こんにちは。寒さ本番の今日この頃ですが、お元気ですか？

節分が過ぎると、二十四節気のひとつ「立春」で冬と春の節目になります。ふしめの季節を感じる機会として、豆まきや恵方巻を食べたり作ったり、バレンタインディなど街が賑わってきますね。

生活の中に、家族やお友達と一緒に楽しみ下さいね。



子どものアレルギー疾患とその対応



2020年1月11日(土)草加市高砂コミュニティセンターにて、草加市・獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターの共催子育て支援講座「子どものアレルギー疾患とその対応」を開催いたしました。

獨協医科大学 医学部小児科主任教授・吉原重美先生をお招きし、食物アレルギーの基礎知識、エピペンを使用するタイミング、使用方法、スキンケアの重要性などのお話をいただきました。

本物のエピペンを使用して、打ち方や針がどのように刺さっているのかを解りやすく見せていただいたのですが、エピペンを打つ場面を初めて見る方が多く、貴重な実演に会場が盛り上がりを見せていました。



エピペンを使用するタイミングなど、日本小児アレルギー学会 <https://www.jspaci.jp/> のホームページに掲載されておりますので、そちらをご覧ください。



講義終了後、辻安全食品株式会社 代表取締役・辻幸一郎氏によるアレルギー代替食品の紹介と、試食会のご協力をいただきました。

ミルク不使用チョコレートや乳・卵・小麦不使用のクッキーを実際に食べさせていただきましたが、どれもとても美味しかったです。

辻安全食品株式会社 <https://tsuji-a.com/>
オンラインショッピング <https://www.allergy-food.jp/>



おやこ大学だより編 ペアレント・トレーニング vol.4 「肯定的な注目をするタイミング」

前回号では、肯定的な注目=ほめる注目には「その行動は好ましい行動だよ」と伝えるパワーがあることをお話ししました。注目(ほめる)されることは子どもにとってうれしいもので、続けてほしい行動に対して繰り返しほめたり感謝したりすることで、次も同じような行動をとればよいことを学びます。

では、いつほめたり感謝したりする肯定的な注目をすればよいのでしょうか。

タイミングは大きくみて3つあります。



1. 好ましい行動を始めた時。
2. やっている最中子どもの行動を実況中継するように。
3. 好ましい行動が終わった時に。



こうしてみると、ほめるタイミングは子どもの様子を見ながらたくさんあることに気が付きます。

加えて、子どもがほめられたなど伝わるほめ方のポイントもお伝えしておきますね。

- ★ ほめる時は、子どもの名前を呼び注意を親に向けましょう。
- ★ 「すごいね」「いい子ね」でほめ言葉が終わってしまうと、どの行動が「すごい」や「いい」の子どもに伝わらなくて、どんな行動が好ましかったのか具体的にほめましょう。
たとえば「お茶碗運んでくれてありがとう」など。
- ★ 明るい表情で穏やかな声で。
- ★ 言葉は短く。



人が成長するためには、肯定的な注目をしてもらうことが大切です。ほめられることが積み重なり、子どもは自信をもっていきます。

次回は、「行動のABC」についてお話ししたいと思います。楽しみに。

次回号をお楽しみに

先日何気なく聞いていたラジオで「今年楽しめる天体ショーがいくつかあり、10月6日頃には火星の地球大接近がある」そうです。この他どんな天体ショーが楽しめるかと思いネットで検索してみたら、この他にもたくさん紹介されていました。身近な自然を感じながらお子さんと楽しむのもいいかもしれませんね。

専門相談のお知らせ

2020年2月7日(金) 14時~17時
長谷川 毅先生(草加市立病院小児科部長)

2020年2月13日(木) 13時~16時
田中 志帆先生(文教大学、臨床心理士)

2020年2月27日(木) 13時~15時
井原 正則弁護士(獨協大学と子ども法律事務所)

2020年2月28日(金) 10時~13時
林 恵津子先生(埼玉県立大学教授、臨床発達心理士)

※すでに定員一杯でキャンセル待ちとなる場合があります。お問い合わせください。

お問い合わせ・投稿はこちらまで
獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター

〒340-0041
埼玉県草加市松原1-1-10
TEL. 048-946-1781
FAX. 048-946-1782
E-Mail: kodomo1c@dokkyo.ac.jp

子どもに関する相談
(無料 月~金 9時~17時)
048-946-1771
※祝祭日はお休み